

項目	内容
名称	ティートリー油、ティーツリー油、ゴセイカユブテ油、メラレウカ [英]Tea tree oil [学名]Melaleuca alternifolia Cheel
概要	ティートリーはオーストラリア原産の低木または小木。細い針のような葉をもち、高さ5~7 m程度に生長する。葉の精油を利用する。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精油：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</li> </ul>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・テルピネン-4-オール、 $\gamma$ -テルピネン、 $\alpha$ -テルピネン、 $\alpha$ -テルピネオール、テルピノレン、シネオールなどで構成される (33) (75)。
分析法	-
有効性	
ヒトでの評価	調べた文献の中に見当たらない。
循環器・呼吸器	
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。

生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	<p><b>RCT</b></p> <p>以下にも有効性情報はあるが、全て外用であり経口摂取の効果ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・爪真菌症患者60名 (試験群40名、平均29.6歳、アメリカ) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、2%塩酸ブテナフィン+5%ティートリー油含有クリームを8週間塗布したところ、治癒率が上昇した (<a href="#">PMID:10357864</a>)。</li> <li>・爪真菌症患者117名 (試験群64名、平均61歳、アメリカ) を対象とした二重盲検無作為化比較試験において、100%ティートリー油の2回/日、6ヶ月間の塗布は、1%クロトリマゾールと同等の治癒率を示した (<a href="#">PMID:8195735</a>)。</li> <li>・足部白癬患者104名 (試験群37名、平均30歳、オーストラリア) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、10%ティートリー油含有クリームを2回/日、4週間塗布させたところ、1%トルナフテートと同等の自覚症状の改善が認められたが、菌の培養結果に影響は認められなかった (<a href="#">PMID:1303075</a>)。</li> <li>・足部白癬患者158名 (平均41歳、試験群105名、オーストラリア) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、25%または50%ティートリー油を2回/日、4週間塗布させたところ、自覚症状、保菌状態の改善が認められた (<a href="#">PMID:12121393</a>)。</li> </ul>
参考文献	<p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p> <p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)</p> <p>(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ</p> <p>(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).</p> <p>(75) エビデンスに基づくハーブ&amp;サプリメント事典 南江堂</p> <p><a href="#">(PMID:17267908) N Engl J Med. 2007 Feb 1;356(5):479-85.</a></p> <p><a href="#">(PMID:9830588) J Hosp Infect. 1998 Nov;40(3):175-8.</a></p> <p><a href="#">(PMID:10357864) Trop Med Int Health. 1999 Apr;4(4):284-7.</a></p> <p><a href="#">(PMID:8195735) J Fam Pract. 1994 Jun;38(6):601-5.</a></p> <p><a href="#">(PMID:1303075) Australas J Dermatol. 1992;33(3):145-9.</a></p> <p><a href="#">(PMID:12121393) Australas J Dermatol. 2002 Aug;43(3):175-8.</a></p> <p><a href="#">(PMID:8155123) Med J Aust. 1993 Dec 6-20;159(11-12):830-1.</a></p> <p><a href="#">(PMID:8588296) Vet Hum Toxicol. 1995 Dec;37(6):557-8.</a></p> <p><a href="#">(PMID:8057407) J Toxicol Clin Toxicol. 1994;32(4):461-4.</a></p> <p><a href="#">(PMID:12813303) Pediatr Emerg Care. 2003 Jun;19(3):169-71.</a></p> <p><a href="#">(PMID:9007380) Contact Dermatitis. 1996 Nov;35(5):304-5.</a></p> <p><a href="#">(PMID:9062759) Contact Dermatitis. 1997 Feb;36(2):117-8.</a></p> <p><a href="#">(PMID:10617229) Contact Dermatitis. 1999 Dec;41(6):354-5.</a></p> <p><a href="#">(PMID:10789871) Contact Dermatitis. 2000 May;42(5):309-10.</a></p> <p><a href="#">(PMID:17627654) Contact Dermatitis. 2007 Aug;57(2):120-1.</a></p> <p><a href="#">(PMID:9838722) Australas J Dermatol. 1998 Nov;39(4):244-7.</a></p> <p><a href="#">(PMID:10720822) Audiol Neurootol. 2000 Mar-Apr;5(2):64-8.</a></p>